

## 【アプリケーション例】 TELLUS-HMI iPad 二次元コード読取り機能

TELLUS-HMI iPadの二次元コード読取り機能で、こんなメリットがあります。

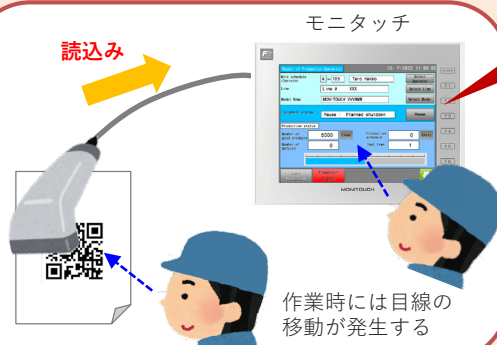
- TELLUS-HMI上でiPadのカメラを使用して二次元コードの読取りが直接でき、コードリーダーが不要となるため、コストダウンが実現可能です。
- 操作パネルとして装置の制御・操作をしつつ、コードリーダーとしての動作も実現。さらに無線環境で上位PCにデータをアップすることも可能です。



### 作業段取り改善のご提案 – 指示内容を手元で確認してポカミス回避 –

Before

モニタッチに接続したコードリーダーを使って、作業指示票にある二次元コードを読み取り、モニタッチの画面に表示された内容を見て作業をする。モニタッチの設置された場所に目線を移動させる等、少し無駄な動きが発生する。



**問題点**  
ほんの少しのことだが、目線の移動により、無駄な動きが発生する

After

モニタッチをTELLUS-HMI iPadにすると、コードリーダーを使わずに直接カメラから二次元コードを取り込める。接続機器を削減可能な上に作業内容が手元で確認でき、目線の移動が最小限になり、作業効率向上に貢献できる。



操作パネルとして使用時も作業指示票の読取り時も目線はそのまま、タブレットを見続けて作業が完了できる

**コードリーダーも不要!**  
手元で作業内容をチェックしつつ指示内容もカメラから取り込めて便利



作業工程管理の改善 — 工程毎に手順をチェックしてポカよけを実現 —

各工程毎に作業指示書を手元の操作タブレット（TELLUS-HMI iPad）で読み込むことで、作業に漏れがないか簡単にチェックすることが可能です。読み込んだ指示内容と、作業終了後のチェック内容を照らし合わせることで、次の作業に進めるようにプログラミングしておけば、指示ミスや指示漏れが防げます。

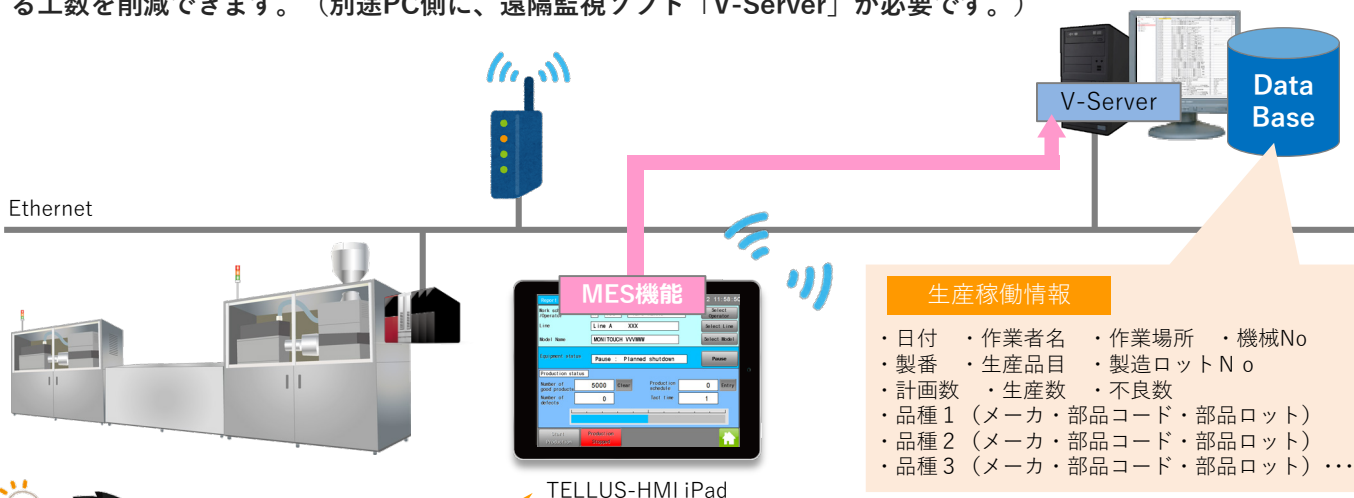
生産品種が変わると操作手順も変わるため、現在の作業指示書を必ず読み取る手順にし、誤手順を防ぎます！



さらに

生産管理システム改善のご提案 — V-Serverを使ったMES機能 —

モニタッチと同様に、作業内容や各種生産情報を、生産現場のTELLUS-HMI iPadから上位PCのデータベースに直接格納することができます。データベース格納のために新たな機器を増やす必要がなく、システム構築にかかる工数を削減できます。（別途PC側に、遠隔監視ソフト「V-Server」が必要です。）



生産稼働情報

- ・日付
- ・作業者名
- ・作業場所
- ・機械No
- ・製番
- ・生産品目
- ・製造ロットNo
- ・計画数
- ・生産数
- ・不良数
- ・品種1 (メーカ・部品コード・部品ロット)
- ・品種2 (メーカ・部品コード・部品ロット)
- ・品種3 (メーカ・部品コード・部品ロット) ...

トレーサビリティ対応を簡単に実現！

難しいシステム構築を作り込む必要はありません。TELLUSとV-Serverで、データベースへのデータの受け渡しが簡単に実現可能です。

【発行元】

発紘電機株式会社  
モニタッチコールセンター

TEL : 0120-128-220  
E-Mail : gijyutsu1@hakko-elec.co.jp  
URL : www.hakko-elec.co.jp

その他のMONITOUCH EXPRESSはこちら

